

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

部局名	商工観光部	部局長名	田上正洋
-----	-------	------	------

部局の 経営資源	当初予算	10.9 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		41人	8人	49人
うち 自動車 運送事業 (甑島バス)	(12人)	(6人)	(18人)	

部局の使命 (組織の存在価値)	商工観光部は、商工業の活性化、優良企業の誘致、地域公共交通の整備、川内港における物流・交流の増大、観光客の積極的誘客により地域経済の発展に貢献するとともに、国際交流の促進を図り市民の国際感覚の醸成に貢献します。	組織目標像	<p>【施策の目標像】 中心市街地活性化対策が推進され、来街者が増加 既存企業の活性化、新規企業立地により、就労機会が増加 甑島航路及びバス、鉄道等公共交通網の充実、及び高速交通網との連携により、交流人口が増加 川内港の港湾機能拡充、国際定期航路の増便等により、港湾貨物取扱量が増加 観光資源や温泉資源の活用が進むとともに、市民に「おもてなしの心(ホスピタリティ)」が浸透し、体験滞在型観光(ツーリズム)を中心に観光客が増加 市内企業の外国との経済交流が進み、貿易額が増加 市民レベルの国際交流が進み、市民の海外渡航者、外国人の本市来訪者が増加</p> <p>【組織の目標像】 協調融和の部内グループ体制ともいえる明るい組織 チャレンジ精神、良き競争心、長期的・地球的視点を持った職員 の協同体 危機管理が徹底し、何事にも正確・迅速に対応できる組織</p>
--------------------	---	-------	---

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

平成 2 0 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
1 中心商店街の 活性化 【商工振興課】	中心商店街空き店舗率 (1 5 . 0 %) 中心市街地 1 日歩行者通行量 (山形屋前 7 0 0 人) (タイヨー前 1 , 2 5 0 人) (南日本銀行前 4 1 0 人)	中心市街地活性化基本計画の 認定に係る関係機関協議 上記計画事業メニュー実現の ための関係機関協議・調整 農商工連携の促進(空き店舗活 用特産品販売所及びチャレン ジショップ開設等) (株)まちづくり薩摩川内の設立 及び事業展開の支援	基本計画の認定に向けた 取り組み ・内閣府協議実施(3 回) ・計画案についてパブリックコ メントの実施(8 月) ・中心市街地活性化協議会開催 (3 回) 特産品販売・チャレンジショップ 「まちのにぎわい館」オープン (1 0 月 3 日) (株)まちづくり薩摩川内設立 (4 月 3 0 日) 街中イベント開催 ・一店逸品さつきまつり (5 月 2 5 日) ・一店逸品七夕市 (8 月 9 ~ 1 0 日)	基本計画の認定に向けた 取り組み ・活性化協議会から基本計画(素 案) に対する意見書提出(1 1 月 1 8 日) ・基本計画については , 大規模未 利用地の活用計画に今後さら に調整が必要なため , H 2 1 年 7 月以降に国の認定を目指す こととした。 特産品販売・チャレンジショッ プ「まちのにぎわい館」運営実 績 出店登録者 : 1 2 9 人 来館者数 : 1 5 , 8 8 0 人 総売上額 : 8 , 2 1 2 千円 街中イベント開催 ・一店逸品歳末市 (1 2 月 1 4 日) 【成果目標に対する数値】 中心商店街空き店舗率 1 6 . 5 % (毎年 7 月調査) 中心市街地 1 日歩行者 通行量 (山形屋前 8 0 1 人) (タイヨー前 1 , 1 8 1 人) (南日本銀行前 4 1 0 人)

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成 2 0 年度

<p>2 地域公共交通の活性化 【商工振興課】</p>	<p>コミュニティバス利用者数 (年間24万人)</p>	<p>市内大循環バスの実証運行に向けての調査研究 デマンド交通システム(登録制予約乗合方式)導入の調査研究 安定したコミュニティバス(くるくるバスなど)の継続運行</p>	<p>地域公共交通活性化協議会開催 (7月1日) ・連携計画の説明 ・市内大循環バス, デマンド交通システムの協議 自動車運送事業の経営健全化に向けた調査研究着手 【成果目標に対する数値】 上半期利用者数: 139,544人</p>	<p>地域公共交通活性化協議会開催 (3月29日) ・平成20年度事業実施経過報告 ・平成21年度事業実施計画及び予算審議 甌島における新たな公共交通運行体系構築調査の実施準備着手 (平成21年度調査予定) 【成果目標に対する数値】 年間利用者数 28万人</p>
<p>3 企業の拡張・新規立地促進 【企業・港振興課】</p>	<p>新設・増設企業 (3社) 新規雇用者数 (120人)</p>	<p>高城町西町2号用地の整備 企業訪問の実施 内陸部・臨海部工業団地の検討</p>	<p>工業団地整備 ・青山用地整備事業着手 (10月17日完成) ・高城町西町2号用地整備事業着手 (H21年3月完成予定) ・高城町瀬ノ岡での整備事業検討(概略設計)着手 新規立地企業 - 2社 ・(株)九州理工 ・(株)アクセレートデバイス 立地企業振興のため,市内企業訪問を実施 【成果目標に対する数値】 新設・増設企業: 2社 新規雇用者数: 約50人</p>	<p>工業団地整備 ・青山用地整備事業完了 (0.38ha, 10月) ・高城町西町2号用地整備完了(2.0ha, 3月) ・高城町瀬ノ岡地区での開発検討業務完了(10月) 立地企業振興のため,企業訪問を実施 【成果目標に対する数値】 新設・増設企業: 3社 ・(株)九州理工 ・(株)アクセレートデバイス ・ユニオン精密(株)(増設) 新規雇用者数: 約70人</p>

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<p>4 川内港・甑島航路の実現 【企業・港振興課】</p>	<p>川内甑島間高速船就航案の決定</p>	<p>甑島市民への情報提供 甑島商船株との就航船舶、航路設定等に関する協議 国・県との補助航路協議 県との関連港湾施設整備協議</p>	<p>「甑島航路に関する市の考え方」のチラシを甑島市民に配布 甑島地域地区コミ会長との意見交換会開催（6月） 甑島地域地区コミ会長と甑島商船の意見交換会開催（8月） 補助航路に関する国への要望実施（九州運輸局ほか） 国土交通省本省要望は、10月22日予定</p>	<p>補助航路に関する国への要望実施（国土交通省本省，10月） 甑島地域地区コミ会長との意見交換会開催（3月）</p>
<p>5 川内港コンテナ航路の拡充 【企業・港振興課】</p>	<p>年間コンテナ取扱数 （1万TEU）</p>	<p>ポートセールス（関係企業・団体訪問，輸出入情報収集，川内港PR）の実施 ポートセミナー（関係企業・団体研修会）の開催（東京） 船会社（韓国・興亜海運）訪問 中国・常熟市港管理局との交易促進協議</p>	<p>ポートセールス実施 （199回） ポートセミナー実施 （7月30日，東京） 船会社（韓国・興亜海運本社を市長が訪問，川内港への週2便寄港等を協議 （7月16～18日） 中国・常熟市の経済開発区、商社、貿易局等と交易促進協議を実施 （7月23～26日）</p> <p>【成果目標に対する数値】 上半期コンテナ取扱数 4,088TEU</p>	<p>ポートセールス実施 （345回） 中国常熟市において市内産品等の市場調査を実施 （焼酎5種，海洋深層水2種，化粧品2種，9月～12月） 第19回中国華東交易会に北薩森林組合の木材サンプル（丸太）出展 （3月1日～5日）</p> <p>【成果目標に対する数値】 年間コンテナ取扱数 7,799TEU （前年度比 0.28%）</p>
<p>6 観光都市への基盤整備 【観光課】</p>	<p>日帰り客数（年間200万人） 宿泊客数（年間 35万人） 観光ガイド登録者数（30人） 宿泊施設客室増加数（300室）</p>	<p>大手旅行社等からの観光アドバイザー招聘</p>	<p>観光アドバイザーを招聘 近畿日本ツーリストから （7月1日～）</p>	<p>観光アドバイザーの主な活動実績 ・観光コース造成 （14コース）</p>

部 局 経 営 方 針

		<p>観光協会の組織拡充</p> <p>市内宿泊施設の拡充</p> <p>新たな旅行パックの造成</p> <p>大手旅行社等と連携した関西・中国・北部九州からの誘客活動の実施</p>	<p>観光協会の組織拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川内駅改札前に観光インフォメーションコーナー設置(4月) ・甕島案内所設置(里町, 5月) <p>市内宿泊施設の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルこしきしま親和館(下甕町, 4月オープン) ・民宿あづま(下甕町, 6月オープン) ・ホテル東横イン薩摩川内駅前(平佐町, 建設中) ・ホテルルートイン薩摩川内(西向田町, 建設中) <p>新たな旅行パックの造成</p> <p>市比野温泉地域で11月実施へ向け調整中 (従来パック「人形浄瑠璃とフルーツ狩りツアー」は7月27日に実施)</p> <p>誘客活動の実施 10月16日~17日 大阪市へプロモーション活動実施予定</p> <p>【成果目標に対する数値】 観光ガイド登録者数: 26人 宿泊施設客室増加数: 38室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション 関西セールス(2回) 福岡セールス(2回) ・協議会, 研修セミナー参加(54回) ・講演(5回) ホテル・旅館組合マナー研修会等 ・甕島地区ホテル・旅館組合施設台帳作成 観光協会の組織拡充 ・甕島委員会の体制強化の検討 市内宿泊施設の拡充 ・ホテル東横イン(平佐町, 2月オープン, 149室) ・ホテルルートイン(西向田町, 152室, 建設中) 新たな旅行パックの造成 ・新規パック 「市比野温泉; 祭りと短歌と美人湯巡りバスツアー」(参加人数: 44人) 「藤川天神臥竜梅と人形浄瑠璃観劇と川内高城温泉巡りと川内戦国村見学バスツアー」(参加人数: 101人) 「人形浄瑠璃観劇とぶどう・ブルーベリー・ほおずき狩りバスツアー」(参加人数: 90人)
--	--	---	--	---

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

				<ul style="list-style-type: none"> ・従来パック 「きんかん・いちご狩りと入来武家屋敷群散策とオガタマ酒造見学バスツアー」 (参加人数：87人) 合計参加人数：322人) 誘客活動の実施 ・セールスプロモーション 関西セールス(1回) 福岡セールス(2回) ・羽田空港内観光PR ・博多駅内観光PR 【成果目標に対する数値】 日帰り客数 年間226万人 宿泊客数 年間33万人 観光ガイド登録者数 45人 宿泊施設客室増加数 171室
<p>7 ツーリズムの促進 【観光課】</p>	<p>体験農家登録数 (100軒) グリーン・ツーリズム参加者数 (年間300人) ブルー・ツーリズム参加者数 (年間200人)</p>	<p>ツーリズム受入れ態勢の整備 農家・漁家体験メニューの充実 教育旅行誘客活動に係る関係機関訪問</p>	<p>ブルー・ツーリズム事業 甌島地域で約30の体験メニューを作成し受入れ開始</p> <p>グリーン・ツーリズム事業 グリーン・ツーリズム推進協議会を設立(6月) 教育旅行誘客活動のため、 10月16日～17日 大阪市へ</p>	<p>ブルー・ツーリズム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験マップ作成 ・体験ツアー実施 (参加者数 21人) ・新聞、情報誌に広告掲載 ・福岡市へセールスプロモーション グリーン・ツーリズム事業 ・推進協議会(8回開催) ・修学旅行生受入れ (埼玉県高校生122人) ・リーフレット作成

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

			<p>プロモーション活動実施予定</p> <p>【成果目標に対する数値】 体験農家登録数：6軒 グリーン・ツーリズム 参加者数：120名 ブルー・ツーリズム 参加者数：225名</p>	<p>・モニターツアー （北部九州から13人）</p> <p>【成果目標に対する数値】 体験農家登録数 34軒 グリーン・ツーリズム 参加者数 122人 ブルー・ツーリズム 参加者数 244人</p>
<p>年度中間総括</p>	<p>おおむね順調に推移しているが、次の事項に遅れがあるため、下半期において目標達成できるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1 中心商店街の活性化」について、空き店舗率が減少しておらず、また大規模未利用地開発の目処がたっていない。 ・「5 川内港コンテナ航路の拡充」について、コンテナ取扱数が伸び悩んでいる。 ・「6 観光都市への基盤整備」について、民間ホテルの着工遅れにより、成果目標のうち宿泊施設客室増加数（300室目標）が未達成の見込み。 ・「7 ツーリズムの促進」について、グリーン・ツーリズムの受入れ態勢づくりが遅れている。 			
<p>年度末総括</p>	<p>おおむね順調に推移しているが、次の事項に遅れがあるため、今年度の事業内容を検証し、次年度は目標達成できるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1 中心市街地の活性化」について、空き店舗率が目標に達していないため、これまでの「家賃補助制度」を廃止し、より効果があると思われる「店舗改装補助制度」に変更するなどの対策を講じたい。また、大規模未利用地の利活用計画については引き続き調整を図りたい。 ・「5 川内港コンテナ航路の拡充」について、世界同時不況の影響もありコンテナ取扱数が初めて前年を下回った。今後は、ポートセールスの強化とともに、新たな輸出入品の掘り起しが必要である。 ・「7 ツーリズムの促進」について、体験農家登録数が目標の約3割しか確保できず、グリーン・ツーリズム参加者数も目標を達成できていない。平成21年度において、修学旅行生の受入れを本格化させることによって、受け皿づくりのスピードを速めたい。 <p>このほか、次の項目では目標数値を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2 地域公共交通の活性化」について、コミュニティバス利用者数については、目標人数を上回った。 ・「6 観光都市への基盤整備」について、日帰り客数、観光ガイド登録者数で目標を上回った。 			